

総合教育会議 資料

資料 1 中学校の環境整備に関するアンケート調査結果

資料 2 中学校の環境整備に関するアンケート調査(自由記述)

資料 3 「中学校の環境整備に関するアンケート」結果分析

平成 30 年 2 月 28 日

中学校の環境整備に関するアンケート調査結果

■ 概要版 ■

三木市教育委員会

全校生徒 100 人未満の状態が今後も続き、一定規模の集団の確保が困難な志染中学校、星陽中学校を対象に、当該地区の保護者や地域住民の意識を把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

アンケートの実施にご協力いただきました方々に、厚くお礼申し上げます。

つきましては、このほどアンケート調査結果の概要版を作成いたしましたので、関係者の皆様にお知らせします。

調査内容

回収結果

アンケートの項目は、次のとおりです。

- 1 地域住民（保護者）用アンケート
 - (1) 回答者の属性（年代、保護者等）
 - (2) 中学校に期待する教育内容及び環境
 - (3) 居住地の学校の現状
 - (4) 居住地の中学校の環境整備の進め方
- 2 中学生用アンケート
 - (1) 回答者の属性（学年）
 - (2) 中学校の現状
 - (3) 中学校の環境整備の進め方

アンケート実施期間

平成 29 年 7 月 7 日～ 8 月 31 日

| | | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-------------|-----|-------|----------|------|
| 地域 (保護者) | | 1,809 | 773 | 43% |
| | 志 染 | 718 | 321 (58) | 45% |
| | 細 川 | 588 | 250 (48) | 43% |
| | 口吉川 | 503 | 202 (46) | 40% |
| 中学生 | | 89 | 89 | 100% |
| | 志 染 | 42 | 42 | 100% |
| | 星 陽 | 47 | 47 | 100% |

() 内は保護者数

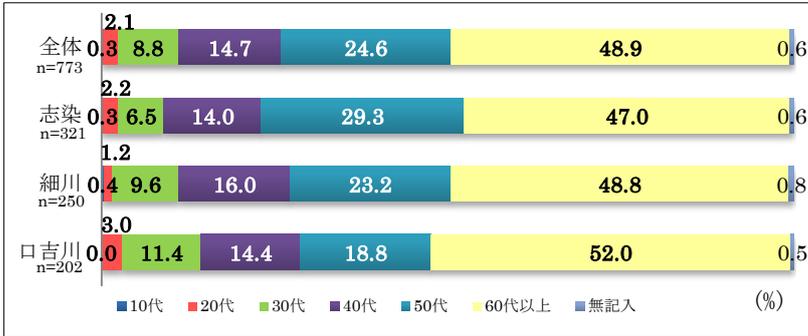
地域住民 (保護者) アンケート結果

回答者の属性

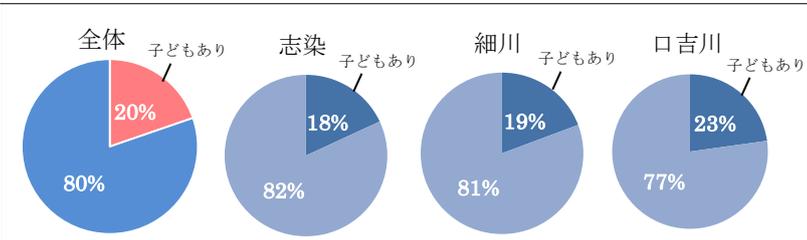
「60 歳以上」の回答者が全体で約 49% と最も多く、50 代が約 25%、40 代が約 15%、30 代以下が約 11% となっています。

全回答者のうち、中学生以下の子どもの保護者は 20% で、その子どもの内訳は、就学前が 74 人、小学生が 92 人、中学生が 45 人です。
(重複あり)

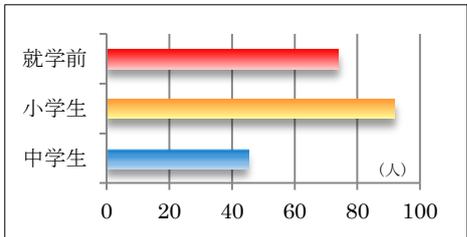
〈 図 1 回答者 年代別割合 〉



〈 図 2 地区別 保護者の割合 〉



〈 図 3 子どもの内訳 〉



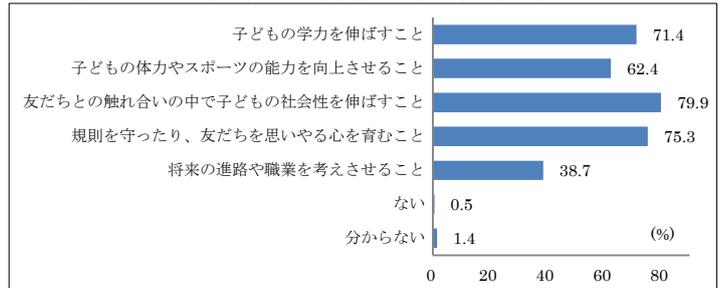
中学校に期待する教育内容及び環境

70%以上の方が「友だちとの触れ合いの中で子どもの社会性を伸ばすこと」、「規則を守ったり、友だちを思いやる心を育むこと」、「子どもの学力を伸ばすこと」を中学校の教育及び指導内容として期待しています。

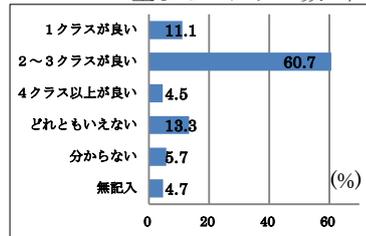
1学年当たりのクラス数は、「2～3クラス（全学年で6～9クラス）が良い」と考えている人が全体の約61%です。

「1クラスが良い」と回答した約11%の人のうち、1クラスの望ましい人数を、「20人～30人」と回答した人は、約63%です。

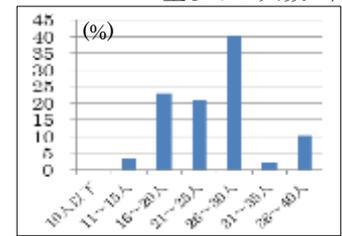
〈 図4 中学校に期待する教育内容（複数回答可） 〉



〈 図5 1学年あたりの望ましいクラス数 〉



〈 図6 1クラスあたりの望ましい人数 〉



1学年あたりの望ましいクラス数の選択理由

| | |
|--------|--|
| 1クラス | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる（約70%） さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに励まし合いながら向上できる（約49%） 社会性や協調性を養う機会に恵まれる（34%） |
| 2～3クラス | <ul style="list-style-type: none"> さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに励まし合いながら向上できる（約66%） クラス替えがあり、たくさんの友達ができる（約63%） 学校全体に活気が出て、学校行事が盛大にできる（約56%） |
| 4クラス以上 | <ul style="list-style-type: none"> クラス替えがあり、たくさんの友達ができる（約91%） さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに励まし合いながら向上できる（約80%） 学校全体に活気が出て、学校行事が盛大にできる（約77%） |

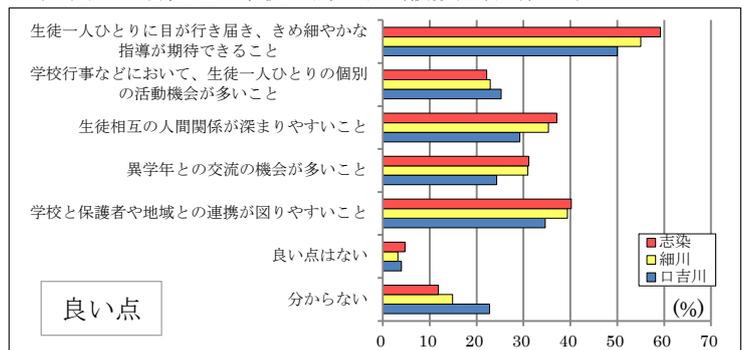
居住地の学校の現状

【良い点】

各地区とも「生徒一人ひとりに目が行き届き、きめ細やかな指導が期待できること」の割合が高くなっています。

続いて「学校と保護者や地域との連携が図りやすいこと」、「生徒相互の人間関係が深まりやすいこと」、「異学年との交流の機会が多いこと」となっています。

〈 図7 居住地の学校の良い点（複数回答可） 〉

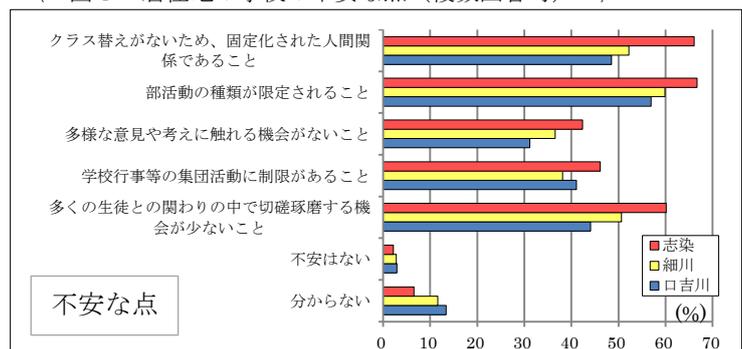


【不安な点】

各地区とも「部活の種類が限定されること」、「クラス替えがないため、固定化された人間関係であること」の割合が高くなっています。

続いて「多くの生徒との関わりの中で切磋琢磨する機会が少ないこと」、「学校行事等の集団行動に制限があること」となっています。

〈 図8 居住地の学校の不安な点（複数回答可） 〉



居住地の中学校の環境整備の進め方

志染地区全体としては「そのまま残す」が21%、「新たな方法で進める」が60%、「分からない」が12%です。そのうち保護者は、「そのまま残す」が17%、「新たな方法で進める」が74%です。

細川地区全体としては、「そのまま残す」が31%、「新たな方法で進める」が46%、「分からない」が16%です。そのうち保護者は、「そのまま残す」が37%、「新たな方法で進める」が44%です。

口吉川地区全体としては、「そのまま残す」が34%、「新たな方法で進める」が49%、「分からない」が14%です。そのうち保護者は、「そのまま残す」が20%、「新たな方法で進める」が61%です。

「新たな方法で進める」と回答した人に、どのような方法が望ましいかを尋ねたところ、各地区とも「学校統合」を選んだ人が多くなっています。

- 【学校選択制】…市が指定する複数の近隣中学校の中から生徒の希望する学校に進学すること。
- 【学校統合】…一定規模の集団を確保するために、2校以上の学校を統合して、1つの学校にすること。統合には、様々な方法がある。
- 【小中一貫校】…小学校から中学校まで9年間を通して系統的に教育活動を行う学校のこと。小中一貫校にはいろいろな型があり、同じ校舎で学習する「一体型」、異なる校舎で学習するが行事等を合同で行ったりする「分離型」などがある。

住民が考える近隣の中学校

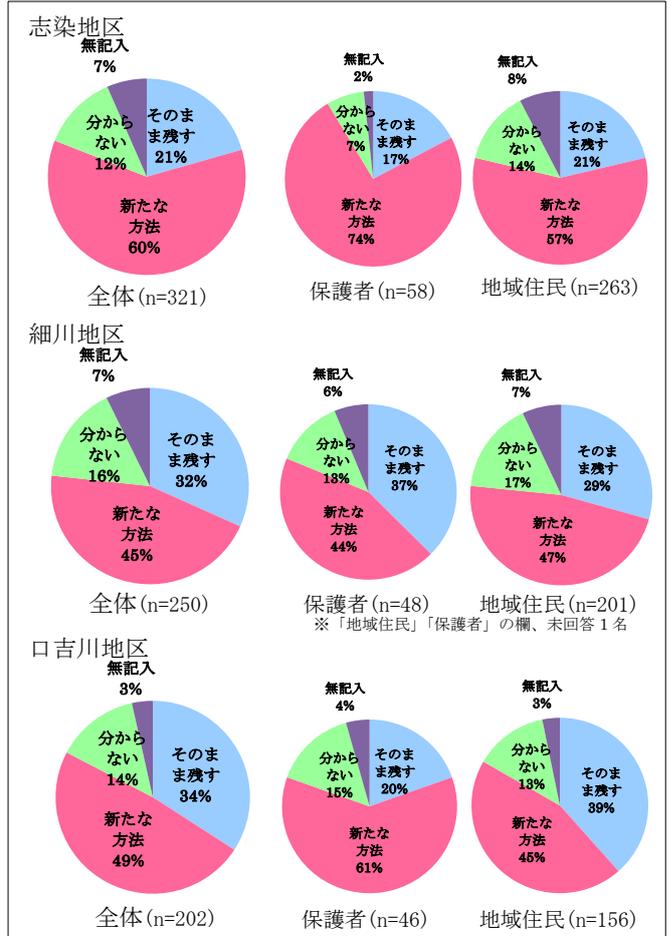
「新たな方法で進める」と回答した人のうち、「学校選択制」、「学校統合」を選んだ人に、「あなたが考える近隣の学校はどこか」を尋ねました。

志染地区は、自由が丘中学校、緑が丘中学校が多くなっています。

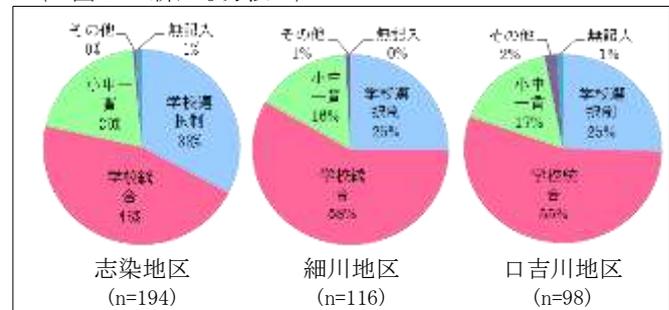
細川地区は、志染中学校、三木中学校が多く、吉川中学校、三木東中学校が続きます。

口吉川地区は、70%以上の人が吉川中学校を選んでおり、続いて三木中学校、志染中学校となっています。

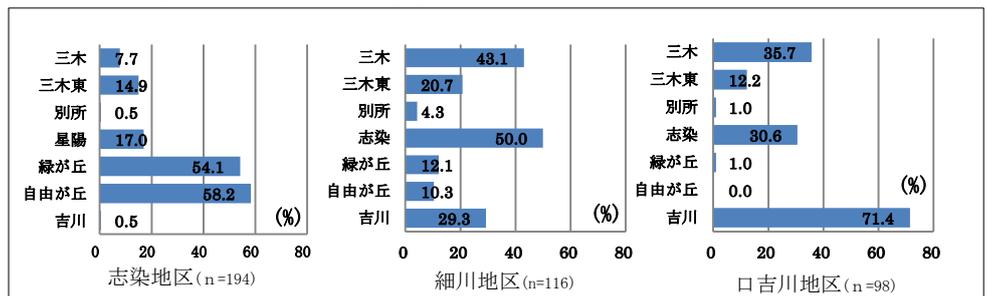
〈 図9 居住地の中学校の環境整備の進め方 〉



〈 図10 新たな方法 〉



〈 図11 近隣と考える中学校（複数回答可） 〉



中学生アンケート結果

志染中学校

1 学校の現状について

| | 良いこと | 困ること | | |
|-----|-------------------|------|-------------------|-----|
| 授業 | 発表機会や授業への参加機会が多い | 29人 | 多様な意見や考えに触れられない | 13人 |
| | 先生に質問しやすく、教えてもらえる | 17人 | 順位や平均点が役立たない | 4人 |
| | 話し合い等生徒相互の活動がしやすい | 8人 | 意見が出にくい時がある | 3人 |
| | 雰囲気が良い | 8人 | 切磋琢磨できない | 2人 |
| 部活 | 団結できる | 19人 | 部活の種類に制約がある | 13人 |
| | たくさん練習できる | 12人 | 誰かが休むと試合や練習ができない | 13人 |
| | 試合に出場できる | 9人 | 切磋琢磨できず、レベルが上がらない | 8人 |
| | 個人指導の機会が多くなる | 5人 | 交代がないので負担が大きい | 7人 |
| 行事 | 協力し合い、団結できる | 28人 | 内容が制限されてしまう | 17人 |
| | 活躍の機会がある | 8人 | 一人の負担が大きい | 12人 |
| その他 | 交流ができ、仲が良い | 19人 | 自分の成績の実力がわからない | 3人 |
| | いじめがない | 5人 | 男女の人数のかたより | 2人 |

(複数回答可)

2 中学校の環境整備の進め方について

「学校をそのまま残す」と回答した生徒は、全体で36%であり、各学年ともほぼ同じ割合です。

「新たな方法で進める」は、1年生、3年生で50%以上であり、全体でも45%です。そのうち、「学校選択制」を選んだ生徒は42%です。

| | 全体 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | |
|--------------|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| ア 中学校をそのまま残す | 15 | 36 | 4 | 33 | 6 | 38 | 5 | 36 |
| イ 新たな方法で進める | 19 | 45 | 7 | 58 | 5 | 31 | 7 | 50 |
| (学校選択制) | 8 | 42 | 5 | 71 | 1 | 20 | 2 | 29 |
| (学校統合) | 4 | 21 | 0 | 0 | 2 | 40 | 2 | 29 |
| (小中一貫校) | 7 | 37 | 2 | 29 | 2 | 40 | 3 | 43 |
| ウ 分からない | 8 | 19 | 1 | 8.3 | 5 | 31 | 2 | 14 |
| 合計 | 42 | | 12 | | 16 | | 14 | |

星陽中学校

1 学校の現状について

| | 良いこと | 困ること | | |
|-----|-------------------|------|------------------|-----|
| 授業 | 先生に質問しやすく、教えてもらえる | 35人 | 多様な意見や考えに触れられない | 9人 |
| | 発表機会や授業への参加機会が多い | 23人 | 話し合う人数、班が少ない | 5人 |
| | 集中できる | 13人 | 体育の時に困る | 4人 |
| | 教室環境が良い | 8人 | 目立つので気が抜けない | 4人 |
| 部活 | 団結できる | 24人 | 部活の種類に制約がある | 14人 |
| | たくさん練習できる | 19人 | 誰かが休むと試合や練習ができない | 13人 |
| | 効率よく練習できる | 11人 | 準備に時間がかかる | 7人 |
| | 個人指導の機会が多くなる | 7人 | 応援がない、さみしい | 5人 |
| 行事 | 協力し合い、団結できる | 19人 | 内容が制限されてしまう | 25人 |
| | 行動しやすく、効率もいい | 11人 | 体育大会での縦割り班 | 12人 |
| | 活躍の機会がある | 8人 | 一人の負担が大きい | 9人 |
| | 会場を広く使える | 2人 | 切磋琢磨できない | 9人 |
| その他 | 交流ができ、仲が良い | 9人 | 掃除の分担範囲が広い | 3人 |
| | 全校生の名前が覚えらる | 1人 | 給食当番がすぐ回ってくる | 2人 |

(複数回答可)

2 中学校の環境整備の進め方について

「学校をそのまま残す」と回答した生徒は、全体で66%であり、特に3年生は、76%と高い割合です。

「新たな方法で進める」は、全体で17%であり、そのうち、ほとんどの生徒が「学校統合」を選択しています。

| | 全体 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | |
|--------------|----|----|----|-----|----|----|----|-----|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| ア 中学校をそのまま残す | 31 | 66 | 7 | 54 | 5 | 56 | 19 | 76 |
| イ 新たな方法で進める | 8 | 17 | 3 | 23 | 2 | 22 | 3 | 12 |
| (学校選択制) | 1 | 13 | 0 | 0 | 1 | 50 | 0 | 0 |
| (学校統合) | 7 | 88 | 3 | 100 | 1 | 50 | 3 | 100 |
| (小中一貫校) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ウ 分からない | 8 | 17 | 3 | 23 | 2 | 22 | 3 | 12 |
| 合計 | 47 | | 13 | | 9 | | 25 | |

中学校の環境整備に関するアンケート調査結果

■ 自由記述 概要 ■

地域住民用アンケートの自由記述欄に記入いただいた主な意見を、地区別に集計しています。1人の意見の中で2つの以上の内容を記述している場合、それぞれでカウントしていますので、各意見の人数は、のべ人数になります。

| | 主な意見 | 計 | 志染 | 細川 | 口吉川 |
|----|---------------------------------------|----|----|----|-----|
| 1 | 多様な人との触れ合いが大切（学校選択制及び学校統合に賛成する意見を含む。） | 66 | 32 | 16 | 18 |
| 2 | 新たな交通手段（スクールバス）の整備が必要 | 50 | 22 | 14 | 14 |
| 3 | 学校を存続させ、少人数の良さを生かした学校づくりを進める。 | 38 | 12 | 15 | 11 |
| 4 | 若い世代の子育て支援や人口を増加に向けた施策等、市の取組が重要 | 37 | 16 | 10 | 11 |
| 5 | 学校は存続し、子どもは住んでいる地域で育てていくべき。 | 30 | 16 | 9 | 5 |
| 6 | 小中一貫校にし、義務教育年代は地域で育てる。 | 22 | 12 | 5 | 5 |
| 7 | 志染中学校と星陽中学校の統合では、少人数の課題が解決できず、意味がない。 | 21 | 12 | 6 | 3 |
| 8 | 小学校も含め、市全体として学校環境のあり方を考えていくことが重要 | 20 | 13 | 3 | 4 |
| 9 | 中学校の環境整備を進めるに当たり、地域との意見交換は必須 | 14 | 6 | 3 | 5 |
| 10 | 母校がなくなるのは淋しい。 | 13 | 7 | 4 | 2 |
| 11 | 少人数であることが不安 | 13 | 6 | 5 | 2 |
| 12 | 学校の伝統も大切だが、これからの子どものことを優先して考えていく方が大切 | 11 | 2 | 3 | 6 |
| 13 | 部活動の実施方法（他校との合同実施、社会教育との連携など）の工夫が必要 | 10 | 3 | 4 | 3 |

(のべ人数)

「中学校の環境整備に関するアンケート」結果分析

地域住民（保護者）

1 中学校に期待する教育内容及び環境

- 期待する教育内容
 - ・ 友だちとの触れ合いの中で子どもの社会性を伸ばすこと（約80%）。
 - ・ 規則を守ったり、友だちを思いやる心を育むこと（約75%）。
- 環境
 - ・ 全体の約61%が「2～3クラスが良い」と考えている。
 - ・ 「1クラスが良い」と回答した人のうち、約63%が1クラスの適正な人数は、20人～30人と考えている。

⇒多様な意見に触れあうことが子供にとって重要であると考えている人が多い。

2 居住地の学校の現状

- 良い点
 - ・ 一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる（約55%）。
 - ・ 学校と保護者や地域との連携を図りやすい。（約38%）
- 不安点
 - ・ 部活動の種類限定
 - ・ 固定化された人間関係

} 地域住民より保護者の割合が高い。

⇒生徒数が少ないことを、多くの保護者が不安に感じている。

3 環境整備の進め方

- 全体に「新たな方法で進める」と回答した人の割合が高い。保護者は「新たな方法で進める」と回答した人の割合がさらに高い。
- 望ましいクラス数は「2～3クラスが良い」と回答した人（全体の約60%）のうち、「新たな方法で進める」と回答した人は、約63%（全体の約38%）であった。

⇒理想は複数クラスであるが、現在の学校環境を変えるという決断ができなかった人が全体の約22%おり、学校環境の今後については慎重に判断したいという考えがあると考えられる。
- 「新たな方法で進める」場合、各地区の地域住民、保護者ともに「学校統合」の割合が高い。
- 「学校選択制」「学校統合」を考えている人が近隣と考える学校

| | |
|-----------------|--------------|
| 志染地区：自由が丘中、緑が丘中 | 細川地区：志染中、三木中 |
| 口吉川地区：吉川中、三木中 | |

⇒通学しやすい学校を選んでいる。
- 志染中と星陽中の統合は小規模の課題を解決できないと考えている人がある。
- 小学校を含め、市全体で学校環境のあり方を考えていく必要があると考えている人がある。

中学生

1 学校の現状

- 良い点
 - ・「きめ細やかな指導が受けられる」「活躍の機会が与えられる」「団結力が生まれる」等、少人数の強みを挙げている。
 - ・志染中学校、星陽中学校ともに同じような意見であり、差異はなかった。
⇒学校生活での満足度が高い。
- 不安点
 - ・部活動の種類の限定
 - ・固定化された人間関係
⇒学校生活には満足しているものの、より学校生活を充実させるための改善点が挙げられている。

2 環境整備の進め方

- 学校をそのまま残す
 - ・志染中学校…36% (42人中15人)
 - ・星陽中学校…66% (47人中31人)
- 新たな方法で進める
 - ・志染中学校…45% (42人中19人)
 - ・星陽中学校…17% (47人中8人)

⇒志染中は、星陽中に比べ生徒数が少なく、今後も生徒の減少傾向が続くため、少人数での学校存続に不安が大きくなっている。